

共に研究を実施する 交流研究員を募集します！

国土交通省
国土技術政策総合研究所
National Institute for Land and Infrastructure Management

申込受付期間
R7.10.1~R7.11.14
(締切期日応相談)



- ① 国土交通省の全国で実施する**重要施策へ関わる先進の研究**に携わることができます。
- ② **これからの社会で活用される技術基準等の策定**を通じて幅広い知識と経験が得られます。これは交流終了後も業務に大いに役立てられます。
- ③ 国総研の交流研究員として、研究活動を実施する中で、**国交省職員、大学の専門家や異業種の交流研究員等多くの方との交流が図られ**、知見を深めることができます。
- ④ 交流研究員として所属しながら、大学の博士後期課程早期修了プログラムに応募し、資格取得を試みる事も可能です。

○募集テーマの例

- ・上下水道を一体とした効率的な管路マネジメントに関する研究
- ・ダム建設を効率的にすすめるための設計・施工に関する研究
- ・土砂災害発生前の警戒避難情報の提供に関する研究
- ・高速道路での自動運転の実現に関する研究
- ・橋梁下部構造、構造物境界部の性能評価法に関する研究
- ・新たなモビリティを活用した都市交通ネットワーク構築手法に関する研究
- ・インフラ分野における生成AIの利活用に関する研究開発
- ・ブルーインフラの広域的な効果に関する研究

全93課題について募集中！

等

※募集テーマ詳細については募集HP内で公開しております。

○応募方法

下記の申請書類を期限内に担当窓口までメールにてご送付ください。

- ・交流研究員受入申請書
- ・交流研究員人事記録
- ・申請期間及び交流研究員の関連業務実績調書

※様式は募集要項ページよりダウンロードいただけます。

問い合わせ先:

国土交通省

国土技術政策総合研究所

企画部企画課

管理調整部企画調整課

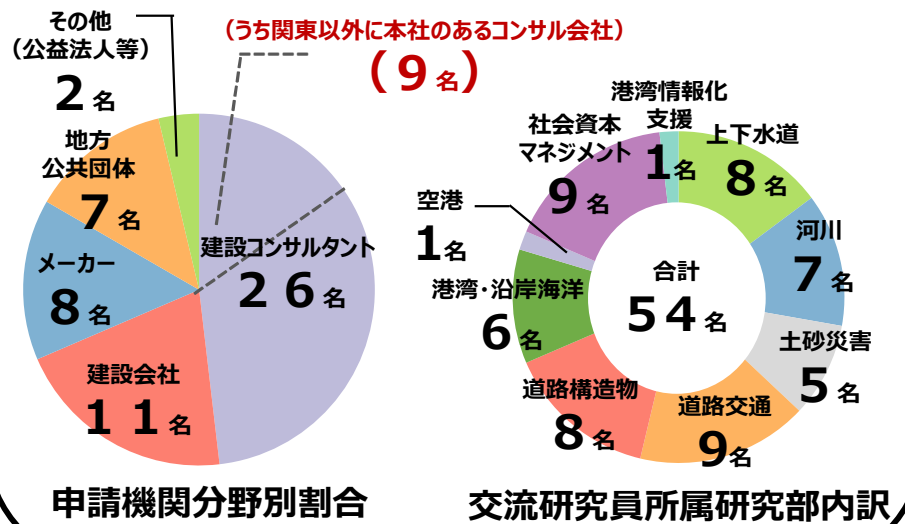
E-mail:

nil-kouryuuken-ukeire@gxb.mlit.go.jp

募集HP



○受入実績(令和7年度)



○先輩交流研究員の声



私は、生活道路の交通安全上の課題解決のため、現地視察やヒアリングなどで様々な取組み事例を収集し、その知見を取りまとめて公開しました。

この業務を通して、国総研の交流研究員としての職種を横断した関わりで、より良い仕組みづくりに必要な、仕組みを作る側の視点と使う側の視点など、視野を広く持った見識を深めることができたと感じています。

黒澤 明史

在籍期間: R6年度～(在籍中)

本務地: 茨城県

所属: 道路交通研究部



有識者の皆様との会議や新技術の現地視察とおして、幅広い分野の方々と意見交換を行い、業界の垣根を越えて社会的課題と向き合う視点を得られたことは、本務地での職務にも繋がる大きな学びとなりました。

外川 弘典

在籍期間: R5年度～R6年度

本務地: 京都市上下水道局

所属: 上下水道研究部(当時)